



子ども医療費を 中学校卒業まで無料にして

北海道の子ども医療費助成制度は遅れています

北海道の子ども医療費は、3歳未満までは基本通院・入院は無料ですが、所得制限や初診時一部負担金があり、完全無料ではありません。全国的にみると、通院では7都府県、入院では7県が中学校卒業までなんらかの助成をしています。

道内179市町村の子ども医療費は、「中3まで無料」125市町村、「高3まで無料」54市町村となっており、自治体独自の努力で、北海道の基準を上回る助成をしていますが、財政難を理由に地域間格差が広がっているのが現状です。

北海道の子どもの貧困率は全国平均を上回り、5人に1人が貧困状態となっています。北海道子どもの生活実態調査では、受診した方が良かったが受診しなかった理由として、「お金がなかった」が26.4%で年収が低い世帯ほど割合が高く、**助成年齢拡充は急務です！！**

お金の心配なく
安心して医療を
受けられるように

署名にご協力
をお願いします！



どこに住んでいても、お金の心配なく医療が受けられるよう せめて中学校卒業まで医療費無料化を

経済的理由により受診が遅れたり、治療が中断された事例

ケース1

虫歯が10本以上あるが、経済的に厳しくずっと歯科受診できなかった小学生。最終的に中学生で総入れ歯に。
(中学校養護教諭より)

ケース2

1歳半頃に気管支喘息と診断され、3歳までに10回以上の入院歴。5歳から喘息発作による入院は7回。小学校入学後から治療の中断が増えた。保護者から「お金がないので、必要最低限の薬にしてほしい」と訴えあり。
(小児科看護師より)



子ども医療費 Q&A

Q・「医療費無料」で安易な受診が増える？

A・重症化防止につながり、時間外受診が減少しています

全国保険医団体連合会の調査では、医療費助成の拡充に関わらず、子どもの医療費は横ばいで推移しており、膨張しているとは言えません。逆に医療費助成の拡充によって、必要な医療を受けることができ、重症化防止につながり、その結果として時間外受診が減少しています。

Q・自治体の財政負担が膨大になる？

A・早期受診で医療費負担軽減も

早期受診は、病気の早期発見につながることもあり、重症化を防ぐことにもつながります。長期的にみれば、医療費負担が減ったという自治体もあります。子ども医療費の助成で「入院が減った」という研究結果も報告されています。(毎日新聞 2017年9月5日付)

Q・他の都道府県の子ども医療費助成制度の状況は？

A・助成を拡充する都府県が増えています

中学校まで医療費助成制度のある都府県は入院で10、通院で18(2017.4.1現在)
群馬県では、入院・通院とも中学校卒業まで無料。所得制限もありません。沖縄県では、子どもの貧困率が高い状況を改善するため、2018年10月から自己負担をなくし、就学前まで無料化しました。知事が決断すれば、医療費無料化は実現することができます。

北海道知事にあなたの声を届けます！
署名にご協力おねがいします。

子どもの医療費無料化を求める北海道ネットワーク

(連絡先) 新日本婦人の会北海道本部 札幌市東区北24条東1丁目4-5 TEL011-721-2008